

6月27日（金）の定期活動

「NEWSみくまりの森」は今月号で記念すべき200号を迎えます。
平成19年2月15日に第1号が発行されて以来、18年間続いています。
この18年の間に培われた、みくまりサポートクラブの素晴らしい活動
ノウハウや伝統は、先人の方々から脈々と継承され、維持されています。

24日の定期活動日が雨による振替日となり、梅雨時期の蒸し暑さの中、
熱中症対策を行いながら活動を行いました。

今回の出席者はサポートクラブ会員15名。午前9時に管理棟へ集合し、作業
手順の説明の後、ラジオ体操で体をほぐし、2班に分かれて活動を開始しました。

1班は石ころび池東屋付近で繁殖している外来種不要木のナンキンハゼの
除伐を行いました。

除伐後は東屋の周囲がすっきりして見通しが良くなりました。

2班は7月5日（土）開催の木工体験教室で使用する材料の点検、整備、加工、
収集を行いました。

作業終了後に管理棟に戻り、午前11時30分に終礼を行い解散しました。

気持ちのいい汗を流し、さわやかな活動となりました。



NEWS

みくまりの森

第200号

発行日
令和7年
7月11日



発行者
みくまりの森
サポートクラブ



モリアオガエルの卵



近年、日本各地でクマの目撃情報が増えています。
府中町でもクマの目撃情報がありました。

みくまりサポートクラブでは、クマよけスプレーなどの
クマ対策用品を携行して活動を行っています。

町内5校の放課後子供教室の林業体験を実施

放課後子供教室の林業体験を6月7日（土）に、みくまり峡森林公園憩で実施しました。
この教室は府中町教育委員会の主催で実施したもので、町内5校の小学校児童37名が参加しました。
林業体験のサポート体制は、我々サポートクラブのメンバーが18名、大学生ボランティア5名、コーディネーター6名、町職員など合計34名です。
林業体験実施内容は、①管理棟から憩いの森広場までの森の散策、②丸太切り、③チップ作業（間伐材をチップにする作業）です。



モリアオガエル

モリアオガエルの卵



森の散策では、環境生活センターの和田先生を講師として招き、みくまり峡管理棟駐車場において事前に捕獲しておいたモリアオガエルの生体を観察したほか、憩いの森広場へ向かう途中にある数ヶ所の池で、木の枝に産み付けられたモリアオガエルの卵やオタマジャクシを観察したり、道中に生えている様々な木についての説明を受け、それぞれの木に樹名板を取り付けたりしました。



出発から2時間ほどかけ、憩いの森広場に到着。
広場では2班に分かれ、丸太切り体験とチップ作業を行いました。
丸太切りでは、切ったヒノキからいい香りが漂い、子供たちはその香りを楽しんでいました。
また、チップ作業においては、機械が木を砕く大きな音に驚いていました。



正午前、林業体験が終わり管理棟駐車場へ向けて下山開始。
子供達は林業体験に満足したのか、楽しげに帰っていききました。

7月の活動案内

定期活動を予定しています。

- ・作業日は22日（火）、9時に水分峡森林公園管理棟へ集合。雨天の場合は25日（金）へ順延します。
- ・憩いの森広場周辺の外来樹木の除伐を行います。
- ・府中中学校の学生との共同作業を予定していますが、猛暑日の場合は共同作業を中止し、サポートクラブのみの活動となる可能性があります。
- ・熱中症対策のため、各自飲料水は多めに持参してください！

会 員 募 集 中 ! 新入会員申込は、役場1階の環境課へ!
電話 082-286-3244